

# 経営比較分析表

兵庫県 福崎町

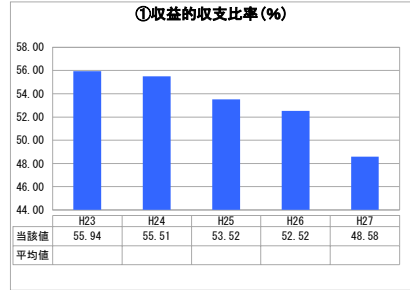
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	18.41	89.28
1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)			
3,610			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,568	45.79	427.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,599	0.85	4,234.12

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

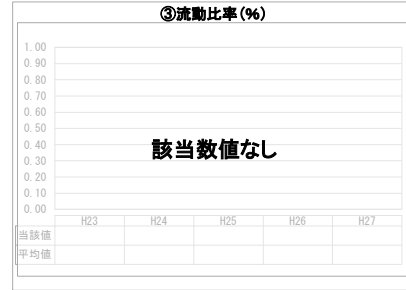
## 1. 経営の健全性・効率性



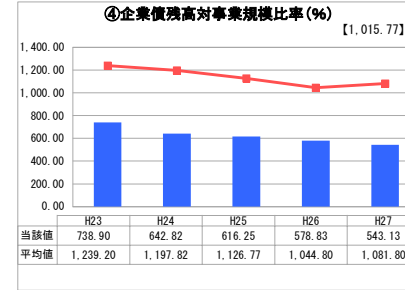
「単年度の収支」



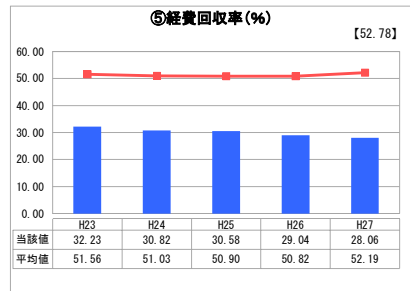
「累積欠損」



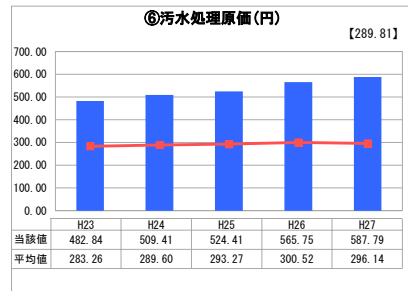
「支払能力」



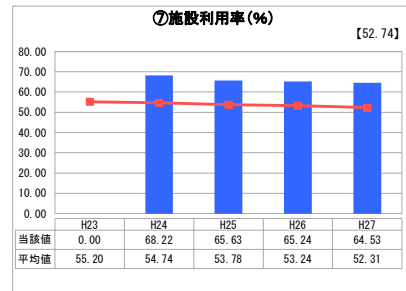
「債務残高」



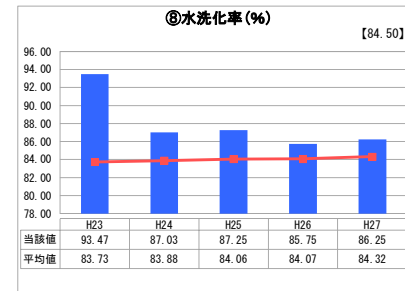
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

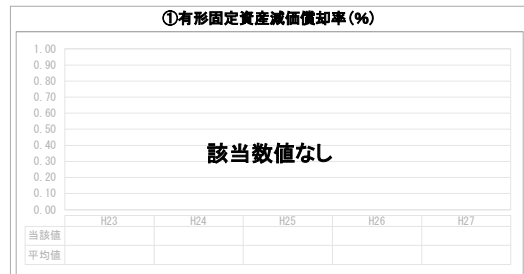


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

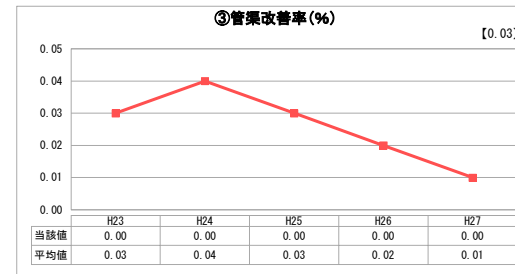
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

過去5年において①収益的収支比率は50%後半から前半に減少し、H27は48%まで低下している。事業費に対し、資本費(地方債償還金)の割合が高く、一般会計繰入金に依存している状態である。また、地方債償還額はH32頃まで年々増加しており、①⑤の率に影響を与えている。  
 ⑤経費回収率については同類他団体に比して低く、20%後半まで低下している。また⑥汚水処理原価は類似団体と比して高く、経費回収率低減の要因となっている。  
 ⑦施設利用率は65%、⑧水洗化率85%となっており、類似他団体より施設効率が高くなっている。④企業債残高対事業規模比率については、他団体より低い割合となっており、今後も新たな借入予定がないため減少する見込みである。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から14年～21年経過し、機器等は経年劣化が進み、緊急対応で更新している。H25の機能強化で一部機器等の更新等を行ったが、開始当初から更新できていない機器等も多数ある。

### 全体総括

施設の利用率及び水洗化率は比較的高いが、各戸の人口減少や節水型設備の普及等により経費回収率が低くなっている。  
 供用開始から14～21年経過し、各施設ともに経年劣化等による修繕経費の増加が見込まれるため、計画的な修繕対応の検討が必要である。  
 また長期的な視点から経営改善・効率化を図るため、公共下水道への統合等も検討する必要がある。今後は老朽施設の更新等に伴う設備投資の増加が想定されるため、経営戦略を策定し効率的な経営を目指すしていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。